

2020年度地域活動事業部全国リーダー研修会報告

開催日：2021年1月30日（金）
WEB開催

1.事業報告

1) 2020・2021年度地域活動事業推進委員会について

- ・新型コロナウイルス感染症のため、今年度（3回）・次年度（4回）の委員会はすべてWEB会議で実施。

2) 2020年度事業報告（案）・2021年度事業計画（案）について

- ・研修会は、2021年度全国栄養士大会はオンライン開催の予定。2021年度全国リーダー研修会は開催予定で日程は未定。
- ・ブロック研修会は各地域での開催で日栄としての開催はしない。
- ・栄養ワンダーは、実施できるところで実施してもらう予定。

2.基調講演「地域で活躍する管理栄養士・栄養士に期待するもの」

講師 （公社）日本栄養士会代表理事会長

中村丁次

2021年介護報酬改定では、福祉施設において『栄養マネジメント強化加算』が新設され、運営基準として「栄養士又は管理栄養士を1以上配置」、複数配置として「管理栄養士を常勤方式で入所者の数を50（施設に常勤栄養士を1人以上配置し、給食管理をしている場合は70）で除して得た数以上配置すること。」となった。この他、地域活動部会が介入できるもの、都道府県の栄養ケア・ステーションが関わるもの等、今回の改訂は大きな意味のあるものである。このため約1万人の雇用が生まれる。（公社）日本栄養士会として1万人の大研修会を予定している。

今回の講演の主旨は、管理栄養士・栄養士としてリーダーに必要な能力と資質を持つことが大切である。現在AIやロボットが栄養指導や献立作成をする時代となってきた。しかし、

AIやロボットは融通性が利かない頑固な専門家である。人は「認知的共感」とともに「情動的共感」をもってやっぱりそうだねと思い、行動変容を起こさせることができる。また、「新世代の食料：持続可能な食糧システムによる健康な食事に関するEATランセット委員会」の報告書によると、理想的な食糧構成は「日本の食事」であり、日本人の食事は健康によい、環境負荷も低い。人が健康であれば地域が健康になるので、管理栄養士・栄養士が、この健康になることを地域に広めてほしい。

3.意見交換会

今回の意見交換会は、1) 栄養ケア・ステーション 2) 新型コロナウイルス感染症の対応・対策について 3) 会員増対策についての事前アンケートを基に、事例発表者を策定し、それぞれの問題と解決について検討するよう設定した。

4.事例発表

1) 会員増対策について

会員減少の原因として、①栄養士会の入会を知らない②栄養士会の入会のメリットが不明瞭③会員であるメリットが不明瞭④退職時が退会の機会となる、⑤給食業務の委託化⑥地域の格差⑦ライフイベントと考え、栄養士会全体で対策を講じた。

①⑤：入会案内パンフレットを改定し学生、給食委託会社、食品会社、ドラッグストア、保健所、イベント等に配布。

②③：栄養ケア支援の情報の取得ができるよう会報誌やホームページ、メルマガ、SNS等で発信、業務の支援、業務用の悩み相談（オンライン相談）等を行っている。

④⑥⑦：栄養ケア・ステーションの紹介と登録案内、就職先の斡旋、研修はハイブリ

ット研修会、GSuite（Googleが提供するクラウド型グループWEBサービス）の活用検討。

2) 都道府県栄養士会栄養ケア・ステーションについて

栄養ケア・ステーションの行っていることは、①栄養ケア・ステーション事業②職業紹介事業（有料）③栄養ケア・センター業務④静岡県静岡医師会との関係維持で、現在1名が常時勤務し対応にあたっている。栄養ケア・ステーション支部（東部・中部・西部）を活用し、人材確保とスキルアップを進め、「栄養ケア・ステーションにお願いすれば間違いない」と言われることを目標に頑張っている。

3) 認定栄養ケア・ステーションについて

「特定非営利活動法人クリオネ」（練馬区）の活動報告。総合事業「わかわか・かむかむ元気応援教室」では、区民ボランティアが考えた料理70品を使って、年6回の料理教室の開催で、コロナ対策としては定員の半数で距離を取り1人ずつ自分の分を調理している。その他、高齢者通いの場（ミニ講座）、介護予防祭りなどを行っている。

5.グループワーク・意見交換会（2件を討議）

テーマ：①会員増対策について

（全ブロック検討）

②認定栄養ケア・ステーションを増やすために（選択）

③新型コロナウイルス感染症対策（選択）

④基調講演を聞いて（選択）

会員増対策：新入会員は1年間研修会を無料にする。学生は無料で研修会に招待する。パンフレット等を作成し養成校へ持参し訪問する。若い人対応はSNSなどを活用、定年退職者退会者に声かけし退会者を減らす。70歳以上は会費を減らす等の対策が発表された。

その他：ハイブリッド研修会は広域のところは参加しやすいと好評、認定ケア・ステーションが増えると会員も増加するのはいか、マネージメントができるよう「経営学」の研修会を入れた。

以上、会員増対策や活動等の報告があり、大阪府栄養士会の取り組みの参考となるものが多数あったので、今後の活動に役立てたいと思う。

（文責 地活 橋本通子）